



桑の緑

小坂小学校 学校便り

令和3年11月17日
文責：校長 江上 知男

「町人権教育授業研究会」が開催されました！



授業の様子(3年)

11月10日(水)に、町内の先生方に参加いただき、人権教育の授業研究会が行われました。授業を公開したのは3年生と担任の酒井先生で、「こんぴらさんのすもう」という題材で学習しました。

それは、「横村に住むとよきちという主人公が『こんぴらさん』という神社である相撲を見に行ったところ、『横村のやつが見に来るところじゃない』と言われ、ひどいめにあわされた」という内容をもとにした学習でした。子どもたちは、「なぜ横村に住んでいるから相撲を見てはいけないのか」「住んでいる場所によって態度を変えるなんておかしい」と、話の内容に怒っていました。

そして、自分たちの生活にも「似ていることがある」として、「休み時間にサッカーに入れてもらえなかった」「私だけ嫌われていると思った」という体験談を出し始めました。でも、途中から「友達に強く言いすぎてしまった」「強い人は許して、優しい人には『だめ』って態度を変えた」という、自分の行動がおかしかった体験談を出し始めました。「そのことを謝りたい」と発言していました。

子どもたちは、自分の生活と重ねることによって、「主人公であるとよきちのつらさ」を理解するとともに、「自分も人を傷つけていることがある」ことに気付いたのだと思いました。

3年生は、その後も人権学習を進め、「どんな仲間になりたいか」について話し合っています。また、他の学年も、学級課題に合った学習を進めているところです。



真剣！

3年生が1年生に「読み聞かせ」

11月は「読書旬間」です。学校では、子どもたちが少しでも読書に興味を持ってくれるよう、「読書パズル」「スタンプラリー」を企画しています。その一環として、また国語の「読む」「聞く」力を高める目的から、3年生が1年生に「読み聞かせ」を行いました。

それにしても3年生の凛々しいこと…。1年生が話を楽しめるように工夫しながら、目をキラキラさせて一生懸命に読んでいました。また、1年生も話に心を奪われているような表情で聞き入っていました。きっと1年生は、「3年生に憧れを持った」と思います。2年生や3年生になった時、「同じように読み聞かせている姿」が見えるようでした。

地域の民生委員・児童委員さんが「あいさつ運動」

11月の第2週に、地域の民生委員(渡邊さん・江原さん・福富さん・八淵さん)が、校門前で「あいさつ運動」をしてくださいました。子どもたちの様子を見ながら、にこやかに声かけしていただきました。民生委員は、住民の立場に立って社会福祉の増進に努める役割であり、学校とは密接な連携を行う立場の方々です。12月には意見交換も行う予定です。

